

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教 科	社会	科 目	公民的分野	期 間	1学期(中間試験)
中 高 ・ 学 年	中学校・3年	授業時数 期間 / 年間	17/85	教 科 書	中学社会公民的分野(大阪書籍)
副 教 材 1	最新公民資料集(明治図書)	副 教 材 2	新公民の学習(浜島書店)	副 教 材 3・4	

年間の到達度目標	個人の尊厳と人権の尊重の意義を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深め、公民として必要な基礎的教養を培う。民主政治の意義、生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会のかかわりを中心に理解を深める。世界平和の実現と人類の福祉の増大のために各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させる。現代の社会的事象に関する関心を高め、様々な資料を適切に収集・選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。
----------	---

期間の到達度目標 (含定期テスト)	公民学習の視点を発見する。わたしたちと現代社会のかかわりあいを理解する。高度経済成長から現在までの日本経済の変化を理解する。国際化のなかで日本に求められる国際貢献、多文化共生社会について考えられる。自分と家族とのかかわり、自分と社会とのかかわりについての法・ルールを理解する。 単元末テスト平均点80点以上 中間試験70点以上得点者70%以上
----------------------	---

標準テスト等の目標	
-----------	--

月	単元・題材	主たる指導項目	主な評価規準			主な評価方法
			関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	
4	公民を学ぶにあたって	現代の世界とそのあゆみ				発表
5	現代社会を見る視点	わたしたちと現代社会	現代社会のようすについて、意欲的に追求方法を考え、調べている。自分の関心をもったことがらを選んで考察している。調査活動のすしめ方をまとめて、発表することができる。わたしたちのくらしの変化を調べることによって、現代社会の特色を理解することができる。			ワークシート
		現代社会の調べ方				自己評価カード
		くらしの変化を調べる				行動観察
	現代日本のあゆみと世界の結びつき	高度経済成長と現代の日本	日本経済の現状とその変動のようすについて意欲的に追及している。日本経済の国際社会への進出のようすと、その意図について考察している。資料を活用してくらしの中の国際化のようすを調べることができる。国際社会のなかで日本の果たすべき役割がますます重要になってきていることを理解することができる。			
		国際社会のなかの日本				
		日本社会の国際化				
		学習内容の定着、単元のまとめ				
	個人と現代社会	一人の人間としてのわたしたち	社会集団の役割と、社会生活を営む上でのルールについて意欲的に追及している。家族の役割と問題点、個人の行動は責任をともなう事を考察している。ルールについて、憲法や民法を活用して調べることができる。社会集団とのかかわり、社会集団の役割、社会生活でのルールを理解することができる。			
		わたしたちと社会				
		15歳は「子ども」？それとも「大人」？				
	法に基づく政治と日本国憲法	環境への取り組みを調べよう	日本国憲法は三原則の国民主権と天皇をどのように位置づけているかに関心をもって追求している。環境改善と行政とのかかわりを考察している。憲法条文を活用して日本国憲法ではどのように定められているかを調べられる。国民主権・基本的人権の尊重・平和主義を基本原則としていることを理解することができる。			
		法に基づく政治と憲法				
		日本国憲法の基本原則				
		世界の憲法の歩み				
		学習内容の定着、単元のまとめ				
		中間試験				
		事後指導(定着確認)				

指導方法の工夫改善等	課題別のグループ学習、自己評価カードの活用、視聴覚教材の活用
------------	--------------------------------

課題・提出物等	ノート、ワークシート
---------	------------

未到達者への対応	単元未確認テスト実施、個別に補充学習の指示、再テスト
----------	----------------------------

総合的な学習の時間、道徳(教育)、特別活動との関連等	
----------------------------	--

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教科	社会	科目	公民的分野	期間	1学期(期末試験)
中 高 ・ 学 年	中学校・3年	授業時数 期間 / 年間	23/85	教科書	中学社会公民的分野(大阪書籍)
副 教 材 1	最新公民資料集(明治図書)	副 教 材 2	新公民の学習	副 教 材 3 ・ 4	

期間の到達度目標 (含定期テスト)		日本国憲法の基本原則を理解し、国民主権と天皇の地位について考える。日本国憲法の人権保障を構成する自由権、平等権、社会権について理解する。児童(子ども)の権利条約の主旨を知るとともに、日本ではこの条約はどのように位置づけられているのか調べられる。地方政治のしくみを理解し、自分の生活とのかかわりを考えられる。 単元末テスト平均点80点以上 中間試験70点以上得点者70%以上			
標準テスト等の目標					
月	単元・題材	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 思考・判断 技能・表現 知識・理解		主な評価方法
5	日本国憲法と基本的人権	人権思想のあゆみと日本国憲法	人権思想の歴史と日本国憲法が保障しているさまざまな人権について意欲的に追求している。 平等権が基本的人権の土台にもあたるといわれているのはなぜかを考察することができる。また、社会権の内容が社会の変化に応じてどのように充実されてきたかを考察することができる。 バリアフリー施設や設備を調査して報告書などにまとめて発表できる。また、「児童(子ども)の権利条約」を活用して、日本の子どもの現状を調べることができる。 平等権などの基本的人権は、差別を許さない努力、不合理をゆるさない努力によって保障されていくものであることを理解している。		発表 ワークシート 自己評価カード 行動観察
		自由に生きる権利			
6		自由に生きる権利			
7		等しく生きる権利			
		等しく生きる権利			
		人間らしい生活を営む権利			
		人権の保障を実現するための権利			
		社会の変化と人権尊重			
		社会の変化と人権尊重			
		人類の問題としての人権			
		公共の福祉と国民の義務			
		学習内容の定着、単元のまとめ			
		日本の平和主義			
		学習内容の定着、単元のまとめ			
	くらしに身近な地域の政治	地域社会とわたしたちのくらし	わたしたちのくらしと政治とのかかわりについて意欲的に追求している。地方自治が民主主義の学校といわれる意味を考察している。福山の政治におこっている新しい動きを広報などの資料を活用して調べ発表できる。地方公共団体の仕事が、わたしたちのくらしと結びついていることを理解している。		
		地方自治のしくみ			
		地方公共団体の仕事と財政			
		地方自治とわたしたち			
		地方自治とわたしたち			
		学習内容の定着、単元のまとめ			
		期末試験			
		事後指導(定着確認)			
		夏休み調べ学習のガイダンス(課題設定等)			
指導方法の工夫改善等		課題別のグループ学習、自己評価カードの活用、視聴覚教材の活用			
課題・提出物等		ノート、ワークシート			
未到達者への対応		単元末確認テスト実施、個別に補充学習の指示、再テスト			
総合的な学習の時間、道徳(教育)、特別活動との関連等					

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教 科	社会	科 目	公民的分野	期 間	2学期(中間試験)
中 高 ・ 学 年	中学校・3年	授業時数 期間 / 年間	15 / 85	教 科 書	中学社会公民的分野(大阪書籍)
副 教 材 1	最新公民資料集(明治図書)	副 教 材 2	新公民の学習(浜島書店)	副 教 材 3 ・ 4	

期間の到達度目標 (含定期テスト)		民主政治での選挙の意義について考えるとともに政党の役割を理解する。国会の地位と役割、内閣のしくみと議院内閣制、司法の重要性について理解する。少年法の概要と、弁護士のはたらき及び裁判員制度の意義について考えられる。 単元末テスト平均点80点以上 中間試験70点以上得点者70%以上				
標準テスト等の目標						
月	単元・題材	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 思考・判断 技能・表現 知識・理解			主な評価方法
7	民主政治と政治参加	国民の意思を生かす選挙	選挙を通じて国政に参加することに関心を持ち政治のしくみを追求している。政治のかたちは選挙制度とかがわっていることを考察している。日本の政党について調べ、その特徴や違いをまとめて発表することができる。現在の日本の選挙制度を理解している。			発表
		国民の意思を生かす選挙				
8		国民と政治をつなぐ政党	国会の地位やしくみについて関心をもっている。二院制の意味について考察している。国会の仕事を具体的にたどりあげて学習している。国会の地位やしくみについて理解している。			ワークシート
9	国民の代表機関としての国会	国会の地位としくみ				
10	行政権を持つ内閣	内閣のしくみと議院内閣制	内閣の仕事や国会との関係について追求している。議院内閣制と大統領制を比較して考察できる。規制緩和がどのように進められているかを事例を活用して学習している。内閣の仕事と行政が国民の生活全般にかかわっていることを理解している。			自己評価カード
		内閣の仕事と公務員				
	裁判所と司法権	法を守る裁判所	司法権の独立と国会や内閣とのかわりについて意欲的に追求している。三審制について人権の擁護という視点から考察している。裁判においてこれまでにおこった冤罪事件の事例を調べて学習している。法に基づく公正な裁判によって人権が守られることを理解している。			行動評価
		裁判のしくみ				
		裁判員制度について				
		裁判と人権				
	民主政治を守るために	権力分立、世論と政治	権力分立を避けるために、様々な分権が考えられていることに興味をもって学習している。三権分立ばかりでなく、国と地方の分権も課題になっていることを考察している。マスメディアが意図的に情報操作をした事例などを活用して学習している。権力分立が民主政治を守るために重要であることを理解している。			
		学習内容の定着、単元のまとめ				
		中間試験				
		事後指導(定着確認)				
指導方法の工夫改善等		課題別のグループ学習、自己評価カードの活用、視聴覚教材の活用				
課題・提出物等		ノート、ワークシート				
未到達者への対応		単元末確認テスト実施、個別に補充学習の指示、再テスト				
総合的な学習の時間、道徳(教育)、特別活動との関連等						

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教科	社会	科目	公民的分野	期間	2学期(期末試験)
中 高 ・ 学 年	中学校・3年	授業時数 期間 / 年間	16/85	教科書	中学社会公民的分野(大阪書籍)
副 教 材	1 最新公民資料集(明治図書)	副 教 材	2 新公民の学習	副 教 材	3・4

期間の到達度目標 (含定期テスト)		株価とその変動のようすを調べられる。日ごろの消費生活と日本経済との関連を理解できる。くらしを支えている商品の流通とお金の流れについて理解するとともに、物価の役割についても考える。株式会社のしくみを理解することを通して企業のはたらきを考える。資本主義経済は自由な競争により行われていることを知る。 単元末テスト平均点80点以上 中間試験70点以上得点者70%以上		
標準テスト等の目標				
月	単元・題材	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 思考・判断 技能・表現 知識・理解	主な評価方法
10	くらしと経済	経済の動きを調べよう	くらしの中での消費と経済全体との関係に興味を持って追求している。株価変動の理由について、背景にある様々な事情を考察できる。特定の会社を選んで株価の変動を調べ、その資料を活用して予測もできる。 自分の消費が日本経済をささえる役割をもっていることを理解している。	発表 ワークシート 自己評価カード
11		わたしたちの消費生活		
12		家計の収入と支出		
	市場のはたらき	ものの流れとお金の流れ、市場のしくみと価格の決まり方	さまざまな大型小売店が増えることの問題に関心をもっている。均衡価格はどのようにして決まってくるのかを考察している。物価の変動について統計やグラフを活用して調べることができる。物価が市場の競争だけでは決まらないことを理解している。	行動観察
		ものの流れとお金の流れ、市場のしくみと価格の決まり方		
		学習内容の定着、単元のまとめ		
	生産と企業	生産活動とそのしくみ	株式会社のしくみに関心をもっている。資本主義経済で、生産の集中がおこなわれる理由を考察している。さまざまな企業の様子を調べるのに新聞などを資料として活用している。資本主義経済の特徴を理解している。	
		企業のしくみ		
		現代の日本の企業		
	金融とお金の価値	企業と家計をつなぐ金融	現代の日本の金融に興味や関心をもっている。金融自由化と為替相場の変動による影響を考察できる。為替相場の資料から円とドルの換算計算ができる。金融の変化と為替相場の基礎を理解している。	
		変化する日本の金融		
	働く人をめぐる問題	働く意志と雇用の問題	今日の労働条件や女性の労働をめぐる問題に関心をもっている。女性の雇用にかかわる賃金格差などの問題を考察できる。失業率の変化について統計やグラフを活用して学習している。労働者の権利保障のための法律を理解している。	
		今日の職場の問題		
		学習内容の定着、単元のまとめ		
	期末試験	期末試験		
		事後指導(定着確認)		
指導方法の工夫改善等		課題別のグループ学習、自己評価カードの活用、視聴覚教材の活用		
課題・提出物等		ノート、ワークシート		
未到達者への対応		単元末確認テスト実施、個別に補充学習の指示、再テスト		
総合的な学習の時間、道徳(教育)、特別活動との関連等				

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教 科	社会	科 目	公民的分野	期 間	3学期(学年末試験)
中 高 ・ 学 年	中学校・3年	授業時数 期間 / 年間	24/85	教 科 書	中学社会公民的分野(大阪書籍)
副 教 材	1 新公民資料集	副 教 材	2 新公民の学習	副 教 材	3・4

期間の到達度目標 (含定期テスト)		国民生活を支えるため、国が果たしている財政の役割について理解し、公平な税負担のあり方、景気安定化政策について考え、消費税の今後について意見をまとめられる。日本の社会保障制度のしくみを理解する。年金制度のありかたなど少子高齢化にかかわる課題を考えられる。国際連合の働き、国際社会の経済活動を理解する。南北問題、冷戦後の民族紛争やテロの問題、日本の国際貢献を考えられる。 単元末テスト平均点80点以上 中間試験70点以上得点者70%以上				
標準テスト等の目標						
月	単元・題材	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 思考・判断 技能・表現 知識・理解		主な評価方法	
7	政府の仕事と財政	財政のはたらき	公正な税負担のあり方について関心をもっている。 消費税と所得の累進課税を対比して考察できる。 公定歩合の変動の統計やグラフを活用して学習している。 国や日本銀行が景気安定化政策をとっていることを理解している。		発表	
		財政のはたらき				
		税と国債				ワークシート 自己評価カード
		景気の動きとその対策				
1	福祉の充実と生活環境の整備	社会保障のしくみ、福祉の充実と生きがい	少子高齢化が急速にすすむ日本の社会福祉について関心をもっている。 介護保険制度など高齢者福祉の現状と課題について考察できる。 社会保障費が財政に占める割合を調べ、外国と比較して日本の特長を把握することができる。 社会保障制度の基本的な内容と今後の問題点を理解している。		行動観察	
		社会保障のしくみ、福祉の充実と生きがい				
		生活環境と社会資本の整備				
		学習内容の定着、単元のまとめ				
2	国家と国際社会	身近な国際協力をしよう、国際社会と主権国家	世界平和を実現するうえで、平和主義の憲法を持つ日本の責任について意欲的に追求している。 冷戦後の世界で、核軍縮や核不拡散がなかなかすすまない理由について考察できる。 地図と資料を活用して、世界の紛争地域を把握し、紛争の集中している地域の特徴をまとめることができる。 日本によるODAや国際協調のしくみのなかでの紛争地への復興支援について理解している。			
		国際連合のしくみとはたらき				
		一体化する国際経済				
		現代世界の戦争と平和				
		日本の平和主義と国際貢献				
		平和な世界を求めて				
3	地球環境と人類	資源・エネルギーと食糧問題、地球規模の環境問題	地球規模の視点を持って、国際的なとりくみをすすめなくてはならない諸問題について意欲的に追及している。 環境破壊の原因や限りある資源、食糧供給にかかわる問題を考察することができる。 日本の食料自給率の変動について資料を活用して把握し、国際比較や問題点をまとめる。 環境問題や食糧問題について、国境を越えた協力が大切だと言うことを理解している。			
		地球の環境を守るため(国際的な協力、日本における取り組み)				
		" (人類の共生をめざして)				
		現代の宗教と政治				
		公民を学んで				
		学習内容の定着、単元のまとめ				
		学年末試験				
		事後指導(定着の確認)				
		年間のまとめ				
		年間のまとめ				
指導方法の工夫改善等		課題別のグループ学習、自己評価カードの活用、視聴覚教材の活用				
課題・提出物等		ノート、ワークシート				
未到達者への対応		単元末確認テスト実施、個別に補充学習の指示、再テスト				
総合的な学習の時間、道徳(教育)、特別活動との関連等						

福山中・高等学校 中高一貫シラバス（年間指導項目）

教科	社会科
科目	公民的分野
中高・学年	中学校・3学年
単位数	
年間授業時数	95時間

教科書	「中学社会 公民的分野」(大阪書籍)
副教材 1	資料集 「最新公民資料集」(明治図書)
副教材 2	問題集 「新公民の学習」(浜島書店)
副教材 3	
副教材 4	

到達度目標	
個人の尊厳と人権の尊重の意義を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深め、公民として必要な基礎的教養を培う。民主政治の意義、生活の向上と経済活動とのかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会のかわりを中心に理解を深める。世界平和の実現と人類の福祉の増大のために各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことが重要であることを認識させる。現代の社会的事象に関する関心を高め、様々な資料を適切に収集・選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。	

備考	
夏季休暇には、新聞などで国会・内閣・裁判所にかかわるニュースをピックアップして、記事中の語句の意味、記事の概略・不明点を調べてまとめさせる。各単元では、学習問題の設定、追求、まとめ、考察の過程をふんだ学習を行う。	

指導期間	1学期前半（中間試験）				1学期後半（期末試験）				2学期前半（中間試験）				2学期後半（期末試験）				3学期（学年末試験）									
到達度目標 (含定期テスト)	公民学習の視点を発見する。わたしたちと現代社会のかかわりあいを理解する。高度経済成長から現在までの日本経済の変化を理解する。国際化のなかで日本に求められる国際貢献、多文化共生社会について考えられる。自分と家族とのかわり、自分と社会とのかわりについての法・ルールを理解する。 単元末テスト平均点80点以上 中間試験70点以上得点者70%以上				日本国憲法の基本原則を理解し、国民主権と天皇の地位について考える。日本国憲法の人権保障を構成する自由権、平等権、社会権について理解する。児童（子ども）の権利条約の主旨を知るとともに、日本ではこの条約はどのように位置づけられているのか調べられる。地方政治のしくみを理解し、自分の生活とのかわり方を考えられる。 単元末テスト平均点80点以上 中間試験70点以上得点者70%以上				民主政治での選挙の意義について考えるとともに政党の役割を理解する。国会の地位と役割、内閣のしくみと議院内閣制、司法の重要性について理解する。少年法の概要と、弁護士のはたらき及び裁判員制度の意義について考えられる。 単元末テスト平均点80点以上 中間試験70点以上得点者70%以上				株債とその変動のようすを調べられる。日ごろの消費生活と日本経済との関連を理解できる。くらしを支えている商品の流通とお金の流れについて理解するとともに、物価の役割についても考える。株式会社のお金を理解することを通して企業のはたらきを考える。資本主義経済は自由な競争により行われていることを知る。 単元末テスト平均点80点以上 中間試験70点以上得点者70%以上				国民生活を支えるため、国が果たしている財政の役割について理解し、公平な税負担のあり方、景気安定化政策について考え、消費税の今後について意見をまとめられる。日本の社会保障制度のしくみを理解する。年金制度のありかたなど少子高齢化にかかわる課題を考えられる。国際連合の働き、国際社会の経済活動を理解する。南北問題、冷戦後の民族紛争やテロの問題、日本の国際貢献を考えられる。 単元末テスト平均点80点以上 中間試験70点以上得点者70%以上									
標準テスト等の目標																										
目項習学	時間	主たる指導項目	教科書頁	副教材頁	時間	主たる指導項目	教科書頁	副教材頁	時間	主たる指導項目	教科書頁	副教材頁	時間	主たる指導項目	教科書頁	副教材頁	時間	主たる指導項目	教科書頁	副教材頁						
	1	公民を学ぶにあたって、現代の世界とそのあゆみ	~			日本国憲法と基本的人権				民主政治と政治参加				くらしと経済				政府の仕事と財政								
		現代社会を見る視点			1	人権思想のあゆみと日本国憲法	38,39	1	16,17	1	国民の意思を生かす選挙	76,77	1	30,31	1	経済の動きを調べよう	102,103	2	50,51	1	財政のはたらき	138,139	1	74,75		
	2	わたしたちと現代社会、現代社会の調べ方	2-5		2	自由に生きる権利	40,41	1	23	2	国民の意思を生かす選挙			2	わたしたちの消費生活	104,105	1	56-59	2	財政のはたらき						
	3	くらしの変化を調べる	6-11	1	2-5	3	自由に生きる権利			3	国民と政治をつなぐ政党	78,79	1	32-33	3	家計の収入と支出	106-109	1	54,55	3	税と国債	140,141	1	76,77		
		現代日本のあゆみと世界の結びつき			4	等しく生きる権利	42,43,46,47	1	22		国民の代表機関としての国会				4	市場のはたらき			4	景気の動きとその対策	142-145	1	78,79			
	4	高度経済成長と現代の日本	12,13	1	86,87	5	等しく生きる権利	44,45	2		4	国会の地位としくみ	80,81	1	36/37	4	ものの流れとお金の流れ、市場のしくみと価格の決まり方	110-113	1	60,61,66-68			福祉の充実と生活環境の整備			
	5	国際社会のなかの日本	14,15	1	10,11	6	人間らしい生活を営む権利	48,49	1	24	5	国会の仕事と衆議院の優越	82,83	2	38-39	5	ものの流れとお金の流れ、市場のしくみと価格の決まり方	110-113	1	60,61,66-68	5	社会保障のしくみ、福祉の充実と生きがい	146-151	1	82,83	
	6	日本社会の国際化	16,17	1	10,11	7	人権の保障を実現するための権利	50,51	1	25	6	行政権を持つ内閣			40-41	6	学習内容の定着、単元のまとめ		2	52-55	6	社会保障のしくみ、福祉の充実と生きがい				
	7	学習内容の定着、単元のまとめ		2	4-7	8	社会の変化と人権尊重	52-55	1	26	7	内閣のしくみと議院内閣制	84,85	1	40,41	7	生産と企業				7	生活環境と社会資本の整備	152,153	1	84,85	
		個人と現代社会			9	社会の変化と人権尊重	56,57	1	27	8	内閣の仕事と公務員	86,87	2	36-39	8	生産活動とそのしくみ	116-119	2			8	学習内容の定着、単元のまとめ		2	62-67,69,71	
	8	一人の人間としてのわたしたち	20,21	1	12,13	10	人類の問題としての人権	58,59	1	28,29	9	裁判所と司法権				8	企業のお金のしくみ	120-123	1	62-65			9	国家と国際社会		
	9	わたしたちと社会	22-27			11	公共の福祉と国民の義務	60,61	2	18-23	10	法を守る裁判所	88,89	1	42,43	9	現代の日本の企業	120-123	1	62-65	9	身近な国際協力をしよう、国際社会と主権国家	156-159	1	94,95	
	10	15歳は「子ども」？それとも「大人」？	24-25			12	学習内容の定着、単元のまとめ				11	裁判のしくみ	90,91	1	42,43	10	金融とお金の価値				10	国際連合のしくみとはたらき	160-163	1	100,101	
		法に基づく政治と日本国憲法				13	日本の平和主義				12	裁判と人権	92-93	1	44-45	11	企業と家計をつなぐ金融	124,125	1	70,71	11	一体化する国際経済	164,165	1	96-97	
	11	環境への取り組みを調べよう	30,31			14	日本国憲法の平和主義	62,63	1	20,21	12	裁判員制度	94-95			12	変化する日本の金融	126,127	2	60-61	12	現代世界の戦争と平和	166,167	1	98,100,103	
	12	法に基づく政治と憲法	32,33			15	学習内容の定着、単元のまとめ		2	20-25	13	民主政治を守るために				13	働く人をめぐる問題				13	日本の平和主義と国際貢献	168,169	1	102-103	
	13	日本国憲法の基本原則	34-35	1	18,19	16	くらしに身近な地域の政治				14	権力分立、世論と政治	96-99	1	46,47	14	働く意志と雇用の問題	128,129			14	平和な世界を求めて	170,171	2	72-79,82,83	
	14	世界の憲法のあゆみ	36-37			17	地域社会とわたしたちのくらし	68,69			15	学習内容の定着、単元のまとめ	2	40-49	15	今日の職場の問題	130-135	1	72,73	15	地球環境と人類					
	15	学習内容の定着、単元のまとめ		2	8-11	18	地方自治のしくみ	70,71	1	50,51	16	中間試験				16	資源・エネルギーと食糧問題、地球規模の環境問題	172-175	1	88-93	16	地球の環境を守るため（国際的な協力、日本における取り組み）	176,177			
	16	中間試験				19	地方公共団体の仕事と財政	72,73	1	52-53	17	事後指導（定着確認）				17	"				17	"	(人類の共生をめざして)	178-181	2	80,81
	17	事後指導（定着確認）				20	地方自治とわたしたち	74,75	2	28-31	18					18	現代の宗教と政治	182,183	1	98,99	18	現代の宗教と政治	182,183	1	98,99	
						21	地方自治とわたしたち	74,75	2	28-31	19					19	公民を学んで	185			19	公民を学んで	185			
						22	学習内容の定着、単元のまとめ				20	学習内容の定着、単元のまとめ				20	学習内容の定着、単元のまとめ		2	84-88	20	学習内容の定着、単元のまとめ		2	84-88	
						23	期末試験				21	事後指導（定着確認）				21	学年末試験				21	学年末試験				
						24	事後指導（定着確認）				22	事後指導（定着確認）				22	事後指導（定着確認）				22	事後指導（定着確認）				
						25	夏休み調べ学習のガイダンス（課題設定等）				23	年間まとめ				23	年間まとめ				23	年間まとめ				
						26					24	年間まとめ				24	年間まとめ				24	年間まとめ				
備考	単元末テスト未到達者対象の補習 課題・提出物（学習プリント、授業ノート等）中間試験日				単元末テスト未到達者対象の補習 課題・提出物（学習プリント、授業ノート等）期末試験日				単元末テスト未到達者対象の補習 課題・提出物（学習プリント、授業ノート等）中間試験日				単元末テスト未到達者対象の補習 課題・提出物（学習プリント、授業ノート等）期末試験日				単元末テスト未到達者対象の補習 課題・提出物（学習プリント、授業ノート等）学年末試験日									